

現在の対応で利用者の安全は本当に確保できますか？

好評！

事故予防と緊急時対応研修

大阪

職員の気づきと正しい対応が利用者の安心・安全に繋がります！

介護サービスを提供するうえで、利用者の急変や事故を完璧に避けることはできません。そのため、多くの事業所が緊急時の対応方法、事故予防及び再発防止策を検討しています。

しかし、利用者の状態や状況等により対応方法は様々です。介護職員は利用者一人ひとりの状態に応じて、どの部分をどのように観察すれば良いのかを正しく理解する必要があります。また、利用者の急変時や事故発生時に、迅速かつ的確な対応ができなければ、更に大きな問題が生じてしまう可能性があります。

どんなに利用者に満足のいくサービスを提供していても、緊急時の対応が適切でないことにより、今迄築きあげた関係が崩れてしまう可能性もあります。また、利用者や家族は事業所に心のこもったサービスの提供とともに、利用者の『安心』、『安全』も求めています。

そして、利用者の急変や現場での事故はいつ起きるか予測ができないため「何かあってから考える」という体制では不十分です。日頃からの準備が必要不可欠です。

そこで当学院では、事故防止のための視点と正確な対応方法を身に付けていただくための勉強会を企画いたしました。是非この機会に本研修をご受講いただき、利用者の安心と安全に繋がっていただけることを心より願っております。

受講生の声：●起きうることを予測して、どうすべきかを話し合う事の大切さに気付きました。●普段の状態把握が、早期発見に重要な事を学びました。●沢山の体験談や事例を交えたお話し心から納得できました。●リスクコミュニケーションが足りないことを痛感しました。●他のスタッフに早く教えたいです。●バイタルの重要性を改めて感じました。●リスクマネジメントのマニュアル作りに活かします。●介護と看護の連携や役割分担が明確で分かりやすい。●緊急時対応シート役立ちそうです。●五感を大切にすること重要ですね。●医療知識も学ぶことができ満足です。

3/28 9:30~16:30 受講費 10,800円 ネット配信の加入者は半額で受講可能

①	②	③	④	⑤
緊急時対応の原則	緊急時の対応方法	観察のポイント	事故予防のための視点	事故発生時の対応
① 普段からの準備② 医療と介護の連携	① 苦痛を和らげる② 救急車を呼ぶための準備	① 緊急性の高いバイタルサイン② 症状と注意すべき状態	① 誤飲・誤嚥・窒息	① 誤飲・誤嚥・窒息・出血時・骨折・火傷

講師紹介 大瀧厚子先生 保健師・看護師・介護支援専門員 福祉施設士 元特別養護老人ホーム施設長

慶応義塾大学病院の内科病棟に勤務した後、新潟の地域病院に勤務。介護老人保健施設の立ち上げに携わり介護保険制度の施行に伴い介護支援専門員として大手企業にて新規事業所の立ち上げを行う。その後、平成14年に特別養護老人ホームの施設長に就任。現在は独立され、介護職や医療職を対象にターミナルケアや医療に関する講演を全国で展開中。主な著書：『生活の場のターミナルケア』、『介護スタッフのための安心！医学知識』、『介護職のための医学知識ガイドブック』、『ここから始める介護』ほか著書多数。

申込方法：電話、ファックスにて受付いたします。締切：全て先着順になります（80名）

問合せ先：お茶の水ケアサービス学院 事務局 TEL：03-3863-4000

受講対象：介護従事者等どなたでも受講可能

研修会場：国労大阪会館 大阪市北区錦町2-2 天満駅より徒歩5分

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	事業所名	ネット配信の加入の有無	有・無
住所	(〒 -)	(事業所・自宅)		
TEL		FAX	e-mail	

※お申し込み後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。また、申込日に拘らず3/14以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。